

ご案内状

三井不動産株式会社／農林中央金庫
一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク
協力：大阪市
2019年3月20日

＜官民連携で御堂筋の活性化と交流が生まれるエリアに＞

新しい御堂筋の姿を目指す「御堂筋天国」プロジェクトプレス説明会（協力：大阪市）
オフィス街の真ん中で花見酒「桜SAKEフェスタ」開催

4月5日（金）プレス説明会 16：00～16：30 / 桜SAKEフェスタ 16：30～21：00

三井不動産株式会社（本社：東京都中央区）、農林中央金庫（本店：東京都千代田区）および一般社団法人御堂筋まちづくりネットワークは、大阪市協力のもと官民が連携して御堂筋の活性化を目指す「御堂筋天国」プロジェクトを4月5日（金）より開始します。プロジェクト名の「御堂筋天国」には、御堂筋を自由で新しく、大阪の方々にとって親しみやすいエリアにしたいという思いを込めてつけられました。つきましては、同日4月5日（金）に本プロジェクトのプレス説明会を実施します。また、プロジェクト第1弾として淀屋橋odona前で2017年より開催しているマルシェをパワーアップさせた「桜SAKEフェスタ」を開催します。



※プロジェクトロゴ



※イベントイメージ

＜本プロジェクト始動の背景＞

1937年5月に開通した御堂筋は、大阪空襲や高度経済成長期を経て現在に至るまでに環境が大きく変わってきました。2009年12月に設立された「御堂筋空間利用検討会」では、御堂筋の将来像は「車重視から人重視の道路へ」という方向性が示され、「大阪都市魅力創造戦略」においても「御堂筋フェスティバルモール化」の一環として、世界に発信するクオリティの高いにぎわい空間の形成に向けた歩行者空間の充実が位置付けられました。

三井不動産と農林中央金庫は、淀屋橋odona前でのマルシェを過去8回開催し、平均2,000人の来場を生み、御堂筋のにぎわいを創出してきました。また、沿道のビルオーナーやテナント企業等で構成する御堂筋まちづくりネットワークは、2001年の設立以来、御堂筋が活力あるビジネスエリアとして発展し続けていくことを目指して活動してきました。

2025年の大阪・関西万博、また2037年の御堂筋100周年を控え、更に外国人観光客の増加が予想される中で、御堂筋エリアが「世界のブランド・ストリート」として、人が集まるエリア、人が暮らすエリアへと生まれ変わる必要があります。そこで、三井不動産と農林中央金庫は、これまでの個々の活動や知見を活かし、御堂筋活性化の思いを同じくする企業、団体が手を取って、大阪市の協力のもと、御堂筋エリア全体の活性化にむけて進めていきます。

今後はマルシェの開催だけでなく、大阪が世界中から注目される2025年までに産・官・学など、様々なステークホルダーを巻き込みながら、2037年には御堂筋エリアが新たな観光地として認知を獲得し、御堂筋に人が集まり、にぎわいのあるエリアとなることを目指していきます。

つきましては、「御堂筋天国」プロジェクトプレス説明会＆第1弾イベント「桜SAKEフェスタ」を4月5日（金）に実施します。

ご多忙とは存じますが、是非、皆様のご出席を賜りたく、ご案内申し上げます。

■「御堂筋天国」プロジェクト説明会

日時：4月5日（金） 16:00～16:30

場所：淀屋橋odona前

登壇：三井不動産株式会社 常務執行役員関西支社長 弘中 聡 氏

農林中央金庫 常務執行役員 松永 諭 氏

一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク事務局長（株式会社竹中工務店） 高梨 雄二郎 氏

大阪市都市計画局長 高橋 徹 氏

内容：プロジェクトの概要発表および各社取り組み内容の説明

■第1弾イベント「桜SAKEフェスタ」概要

日時：4月5日（金） 16:30～21:00

場所：淀屋橋odona前

内容：淀屋橋odona前に3mの本物の桜が出現します。

灘・伏見の日本酒や大阪のワインを取り寄せ、飲み比べができます。

また、近江牛や犬鳴豚、さくらびんちょうなど、産地直送の素材を活かした

日本酒やワインに合うおつまみも提供しています。



※桜イメージ

<各社のこれまでの取り組み>

■三井不動産は、長期経営方針「VISION2025」の中で「街づくりの一層の進化」を掲げています。大阪のメインストリートである御堂筋が変わることで単なる道ではなく、新たなまちとして機能し、持続的に大阪のまちが発展・活性化していくと考え、これまで農林中央金庫と淀屋橋odona前でのマルシェを過去8回開催し、御堂筋のにぎわいを創出してきました。

■農林中央金庫は、2023年の創立100周年に向け、「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」を目指しています。近畿圏の旬の果物の魅力を大阪のビジネス街でアピールすることを目的に、三井不動産・近畿各県のJAと連携して、淀屋橋odona前でのマルシェを開催し、国産農産物の消費拡大や御堂筋のにぎわい創出に貢献してきました。

■御堂筋まちづくりネットワークは、大阪の「メインストリート」である御堂筋北エリアが「活力と風格あるビジネス街」として維持発展することを目指し、地元で協調し、地元の視点から御堂筋の課題と改善策を検討し、行政、経済団体等とのパートナーシップを図りつつ、活性化に向けて活動しています。

HP：<http://www.midosuji.biz/index.html>

■御堂筋空間利用検討会では、大阪のシンボルロード「御堂筋」の沿道の活性化等の課題を踏まえ、今後の御堂筋の道路空間利用のあり方について検討するため、平成21年12月に「御堂筋空間利用検討会」を国土交通省と大阪市が共同で設置し、検討しました。

参考：<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000209650.html>

■大阪都市魅力創造戦略2020では、世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市へ加速し、2020年に向け大阪を世界へアピールするために、大阪府及び大阪市共通の戦略として、「大阪都市魅力創造戦略2020」を策定（平成28年11月）しました。その中で、世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力創造の基盤づくりの「重点エリア」として御堂筋の活性を掲げています。

参考：<http://www.pref.osaka.lg.jp/toshimiryoku/toshimiryokusen/index.html>